

みずほCustomer Desk Report 2025/04/24号 (As of 2025/04/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.13
TKY 9:00AM	142.69	1.1351	162.06	GBP/USD	0.6376
SYD-NY High	143.58	1.1440	162.50	AUD/USD	0.6435
SYD-NY Low	141.54	1.1308	161.20		0.6350
NY 5:00 PM	143.47	1.1314	162.34		0.6359

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	39,606.57	419.59	日本2年債	0.6800% 0.0200%
NASDAQ	16,708.05	407.63	日本10年債	1.3200% 0.0200%
S&P	5,375.86	88.10	米国2年債	3.8678% 0.0477%
日経平均	34,868.63	648.03	米国5年債	4.0171% 0.0255%
TOPIX	2,584.32	52.20	米国10年債	4.3841% ▲0.0157%
シカゴ日経先物	35,455.00	510.00	独10年債	2.4935% 0.0545%
ロンドンFT	8,403.18	74.58	英10年債	4.5555% 0.0125%
DAX	21,961.97	668.44	豪10年債	4.2070% ▲0.0160%
ハンセン指数	22,072.62	510.30	USDJPY 1M Vol	12.59% ▲0.81%
上海総合	3,296.36	▲ 3.40	USDJPY 3M Vol	11.66% ▲0.67%
NY金	3,294.10	▲ 125.30	USDJPY 6M Vol	11.24% ▲0.41%
WTI	62.27	▲ 1.40	USDJPY 1M 25RR	▲ 2.09% Yen Call Over
CRB指数	295.62	▲ 1.69	EURJPY 3M Vol	9.85% ▲0.74%
ドルインデックス	99.84	0.93	EURJPY 6M Vol	10.01% ▲0.54%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月23日	17:00	欧 製造業PMI・速報	4月 48.7	47.4
	17:00	欧 サービス業PMI・速報	4月 49.7	50.5
	17:00	欧 コンボジットPMI・速報	4月 50.1	50.2
	20:45	米 建設許可件数・確報	3月 1467k	-
	20:45	米 住宅建設許可(前月比)・確報	3月 0.5%	-
	22:45	米 製造業PMI・速報	4月 50.7	49.0
	22:45	米 サービス業PMI・速報	4月 51.4	52.6
	22:45	米 コンボジットPMI・速報	4月 51.2	52.0
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 724k	685k
4月24日	03:00	米 ページュブック	「貿易政策を巡る不確実性が報告書全体で言及された」	
	03:20	米 ベッセント米財務長官 発言	「(日本に求める)通貨目標は一切ない」	

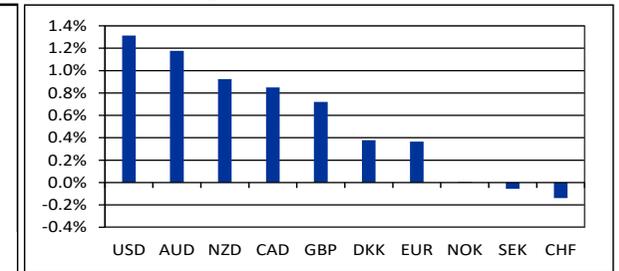
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月24日	17:00	独 IFO企業景況感指数	4月 85.2	86.7
	17:00	独 IFO現況指数	4月 85.4	85.7
	17:00	独 IFO期待指数	4月 85.0	87.7
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 0.12	0.18
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月 2.0%	1.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月 0.3%	0.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	19-Apr 222k	215k
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 4.13m	4.26m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-144.50	1.1200-1.1400	161.00-162.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場におけるドル/円相場は上昇した。欧州時間は141円台で上値重い相場推移となったが、NY時間に入り対中間税引き下げ検討との報道を受けて、142円台後半までドル/円は急伸。142円台にて下押しする場面も一時見られたが、ベッセント米財務長官の強いドル発言や日米交渉で通貨目標を求めないなどの発言が相場を後押しし、ドル/円は143円半ばまで上昇した。また、この日発表された米3月新築住宅販売などの経済指標も予想比良好な結果となりドル買いを後押しした。本日のドル/円相場は堅調な推移を予想。昨日は米中貿易交渉を巡る懸念が後退しドル買いが優勢となった。また、米財務長官から日米貿易交渉を巡る通貨目標が否定されるなど、今までの懸念が和らぐ状況が見られている。本日はG20財務相会議が開催されており、日米財務相が関税や為替について個別の協議の機会を探る中この流れが続くのか注視したい。

東京	東京時間のドル円は、早朝にトランプ米大統領がパウエルFRB議長の解任を否定したことが好感され、昨日より値を切り上げた142.69レベルでオープン。しかし、翌日に日米財務相会談を控えることもあってか、オープン直後から売りに押され141.68をつける。一巡後は142円を挟んでの小動きとなり、結局141.84レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は加藤氏とベッセント氏の会合を翌日に控えている事や、新たな手がかりが無い中、141円半ばから142円前半のレンジで取引され、141.65レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、対中間税の引き下げ検討の報道や、パウエル議長の解任が否定されたことを受け円売り、ドル買いが優勢となった。中国の自動車メーカーの一部関税から除外へのヘッドラインニュースによって143.58まで上昇。その後は買いが一巡し、143.47レベルでクローズした。ユーロドルは対中間税が50~65%に引き下げられると可能性との報道を受け、ドル買いが進み1.130台まで急落。その後米ドルの買い戻しが継続すると一時1.1310まで下落したが、結局1.1314レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、実質性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。